

地方創生交付金を活用した事業の報告及び評価（令和6年度まで実施事業）

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 総事業費 (内、交付金額)	④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑤ 令和6年度終了時の実績値								⑥ 実績を踏まえた事業の今後について		⑦ 外部有識者からの評価・意見 (事業の方向性、KPI等)			
				指標		目標値	単位	目標年月	種別	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	事業効果	事業効果の理由	今後の方向性	今後の方向性の理由	事業評価	意見
1	里山で資源を生かした人を育む拠点整備事業 地方創生拠点整備交付金	丸岡温泉たけくらべについて、客室等の改修や多目的ホールの共有スペース化により、宿泊施設としてだけでなく地域交流の場としての利用等を含め、竹田地区全体への訪問者、宿泊者、滞在時間を増やし賑わいを創出する。	350,440 (147,950) R3	指標①	年間日帰り施設利用者数	19,000	人	R8.3	目標値	17,000	18,000	18,800	19,000	-	-	地方創生に相当程度効果があった	竹田地区来訪者の多くに宿泊される施設となった。周辺の観光施設等と連携し、地区全体での観光客数増加に寄与した。	事業の継続	竹田地区の磨き上げを図る拠点として、さらに多くの観光客に利用され、学生等の学びを支える施設となるよう事業を継続していく。地区全体で発展していくため、施設同士の連携強化を図る。	地方創生に相当程度効果があった	人の数ではなく施設の売り上げといった経済効果にも注目することで、より事業の効果を評価できるのではないかと。
									実績値	11,855	11,345	8,896		-	-						
				指標②	年間宿泊者数	7,000	人	R8.3	目標値	6,000	6,500	6,900	7,000	-	-						
									実績値	6,821	7,151	8,116		-	-						
				指標③	年間竹田地区来訪者数	243,000	人	R8.3	目標値	226,500	232,500	238,000	243,000	-	-						
									実績値	280,157	347,174	320,803		-	-						
2	水がつなげる山・里・町・海の歴史文化発信拠点整備事業 地方創生拠点整備交付金	みくに龍翔館について、既存の常設展示を坂井市の歴史文化をより分かりやすく紹介するものに一新し、また特別展示室も整備し国指定文化財も展示可能とする。シビックプライドの醸成に努めるとともに、地域の歴史・文化遺産の情報発信や保存活用を行う人材育成を図る。	793,870 (173,563) R3	指標①	来館者数（館外活動参加者等を含む）	30,000	人	R8.3	目標値	-	20,000	25,000	30,000	-	-	地方創生に相当程度効果があった	坂井市全域を対象にした分かりやすい常設展示に加え、夏休み期間に親子で楽しめる展示会を実施したことで、幅広い年代層の人々が来館した。学校団体の要望に合わせた展示解説を実施したことで、学校団体の利用増につながり、事業の効果が高まった。	事業の継続	今後とも、魅力的な展示および教育普及事業を展開し、坂井市全域を対象にした歴史や文化を楽しむ分かりやすく発信し、市の歴史や文化財の保存・活用の拠点となる博物館施設としての役割を果たしていきたい。	地方創生に相当程度効果があった	坂井市の博物館として歴史文化の魅力を発信できている。今後の施設の活用について期待したい。
									実績値	-	17,979	18,334		-	-						
				指標②	年間の学習利用校数	24	校	R8.3	目標値	-	15	19	24	-	-						
									実績値	-	29	32		-	-						
				指標③	館が主催・協同する内外での年間事業数（企画展・特別展、講演会、イベント、学習活動支援 等）	15	回	R8.3	目標値	-	11	13	15	-	-						
									実績値	-	53	71		-	-						
3	丸岡城の周遊性向上による観光交流促進プロジェクト デジタル田園都市国家構想交付金	丸岡城観光情報センターについて、丸岡城に潜在する観光価値を最大限に発揮するため、丸岡城天守東側に増築し、飲食機能や物販機能、展示機能を一元的に整備するほか、観光交流のスペースとなる多目的ホールや管理事務所、ボランティアガイドの詰所等を整備する。	984,101 (488,097) R5,6	指標①	坂井市への観光客入込数	3,029,400	人	R10.3	目標値	-	-	2,951,400	2,991,200	3,015,100	3,029,400	地方創生に効果があった	令和5年に丸岡城観光情報センター新築工事を着工したが、建設資材の納期遅延等の理由により、工事完了が10カ月遅延した。結果として施設のオープンが令和7年3月15日となったため、事業効果が得られる期間が短く、目標とする実績値に至らなかった。しかしながら、オープンイベントでは多くの利用者が訪れ賑わいを感じられただけでなく、メディアにも取り上げられ丸岡城周辺の賑わいを発信する役目も果たした。また、オープン直後の丸岡城桜まつり期間の効果も相まって、継続して多くの利用者が訪れ、新たに整備された飲食・物販・展示施設により滞在時間の増加に一定の効果があった。	事業の継続	今後も丸岡城観光情報センターの各機能を磨き上げを継続して行い、魅力ある施設を目指す。観光案内所に寄せられる利用者の声や、飲食物販テナントとの定期的な意見交換により必要に応じて改善を行いながら事業を進めていく。また、当施設周辺の整備工事も継続して進めており、周遊性の機能の向上によりさらなる利用者数の増加と滞在者数の割合の増加が見込まれる。	地方創生に効果があった	オープンして2週間程度であるため評価は難しいものの、順調な滑り出しであるように見受けられる。
									実績値	-	-	4,597,000									
				指標②	丸岡城観光情報センターの利用者数	215,500	人	R10.3	目標値	-	-	192,000	204,000	211,200	215,500						
									実績値	-	-	8,706									
				指標③	丸岡城周辺への2時間以上の滞在者数の割合	30	%	R10.3	目標値	-	-	26	28	29	30						
									実績値	-	-	21									
4	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト 地方創生推進交付金	目まぐるしく変化する社会情勢を生きてゆくこれからの子どもたちには、自分たちの力で未来を切り拓いていこうとする強い意志が求められている。人口減少、過疎化、高齢化といった課題が日常にあふれる地方という先進地で、立場や世代を超えた多様な人々と過ごすことで、地域と高校の協働による魅力ある教育環境づくりに取り組む。	7,800 (3,900) R4～R6 (見込み)	指標①	地域外からの入学生徒数	11	人	R7.3	目標値	9	10	11	-	-	-	地方創生に相当程度効果があった	探究活動などを通じて地元の住民と触れ合い、地域の歴史や文化を学ぶことでシビックプライドの醸成に一定の効果があった。高校の魅力向上が図られ、地域外からの入学者数目標を令和4年度、令和5年度の2か年で達成できた。また、卒業後も地元や高校とつながり続ける効果も見られた。	事業の継続	探究活動を中心に積極的に地域と関わる機会を作り、地域への愛着と理解を深め、継続的な関係構築を図る。また、地域外へも高校の活動や魅力を広報して、入学者または関心を持つ人を増やしていく。	地方創生に相当程度効果があった	報告資料の中に生徒の意識変容について言及し、分析して欲しい。高校生の活動に良い影響を与えていると感じられる。
									実績値	9	22	9	-	-	-						
				指標②	卒業後も地元に関わった大学生・社会人の数	13	人	R7.3	目標値	9	11	13	-	-	-						
									実績値	13	11	10	-	-	-						
				指標③	地域外からの高校への応援者数	11	人	R7.3	目標値	9	10	11	-	-	-						
									実績値	9	10	7	-	-	-						

凡例：事業効果

地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
事業の継続	例：計画通りに事業を継続する
事業の発展	例：事業が効果的であったことから取り組みの追加等さらに発展させる
事業の改善	例：事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または行った）
事業の終了	例：当初の予定通り事業を終了する